災害ボランティア・NPO 協働推進ニュース（臨時）

熊本地震情報【VOL.11】

東京ボランティア・市民活動センター（TVAC）／災害協働サポート東京（CS-Tokyo）
saigai@tvac.or.jp

7 月 28 日に発生した熊本地震に関して TVAC／CS-Tokyo が把握している情報や取組み状況について、下記の通りまとめましたのでお送りいたします。

2026 年 10 月 16 日

1. 市民への情報提供

✧ ボラ市民ウェブ

○TVAC では、東京からできる支援について様々な情報を発信しています（10/15 時点で第 25 報）。
※支援金・義援金、物資、ボランティア受け入れ情報、活動助成金情報等
https://www.tvac.or.jp/news/51208

2. 都内一斉街頭募金

✧ 都内一斉街頭募金（支援金）

○8/21（金）より、第 3 期～第 5 期の提案を行っています。10/15（土）の時点で、23 団体 32 回、総額は 223 万 4,282 円となっています。
https://www.tvac.or.jp/download/FoHG6GY9gAdH.pdf
実施予定日時・場所　★23 区での開催場所　★市部での開催場所

※申込団体…いたばし総合ボランティアセンター／品川ボランティアセンター／あきる野ボランティア・市民活動センター／台東ボランティア・地域活動サポートセンター／稲城市社会福祉協議会／大田区社会福祉協議会／西東京市社会福祉協議会／中野ボランティアセンター／みたかボランティアセンター／文京区社会福祉協議会／こだいらボランティアセンター／目黒区社会福祉協議会／青梅ボランティア・市民活動センター／えどがわボランティアセンター／調布市市民活動支援センター／羽村市社会福祉協議会／立川市社会福祉協議会／荒川ボランティアセンター／国立市ボランティアセンター／小金井ボランティア・市民活動センター／港区社会福祉協議会／東久留米市社会福祉協議会／国分寺市社会福祉協議会／府中ボランティアセンター／市民社会をつくるボランタリーフォーラム TOKYO2027 実行委員会／（福）北区社会福祉協議会・（特非）東京都北区市民活動推進機構／葛飾区社会福祉協議会ボランティア・地域貢献活動センター／みなとボランティアセンター／ちよだボランティアセンター／東京ボランティア・市民活動センター　※複数回実施団体あり

3. 災害ボランティアセンター活動状況

✧ 熊本県内市町村災害ボランティアセンター活動状況

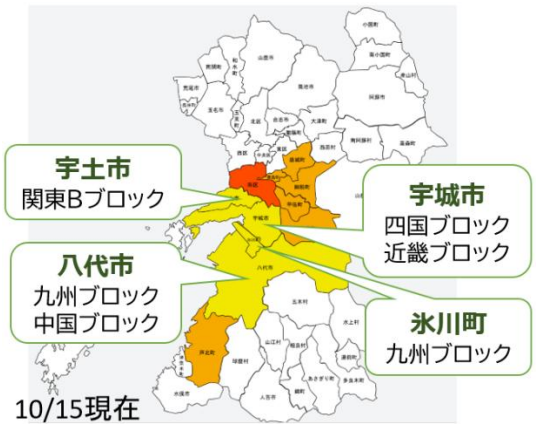
○熊本県内では、5 市町が災害 VC を設置（10/15（木）現在）。
・熊本県社会福祉協議会 災害ボランティア情報
ニーズは主に家財の片付け、災害廃棄物の運搬、ブルーシート、技術系案件（ブロック塀や家屋保全等）

市町村	状況	募集範囲	累計 V 数	市町村	状況	募集範囲	累計 V 数
熊本市	8/5～活動中	全国	2,297 人	嘉島町	8/1~8/31 ※閉所		325 人
八代市	8/10～活動中	全国	11,928 人	益城町	7/29～10/9 ※閉所		1,158 人
宇土市	8/3～活動中	全国	2,708 人	甲佐町	8/4～9/30 ※閉所		568 人
宇城市	8/2～活動中	全国	13,190 人	氷川町	8/8～活動中	全国	3,931 人
美里町	8/4～9/18 ※閉所		1,096 人	芦北町	8/7～8/31 ※閉所		277 人
御船町	8/1～9/18 ※閉所		1,568 人	5 市町		合計	39,046 人

・通常 VC 対応：上天草市、高森町、南阿蘇村、西原村、阿蘇市、菊陽町、大津町　10.15 現在速報値
・活動終了：嘉島町、芦北町、美里町、御船町、甲佐町、益城町

✧ 社会福祉協議会相互応援の動き

○熊本県内災害 VC の応援を目的として、熊本県内外の社協へ派遣要請が行われています。
○熊本県内の宇土市（関東 B ブロック）、宇城市（四国ブロック、近畿ブロック）、八代市（九州ブロック、中国ブロック）、氷川町（九州ブロック）に各ブロックから支援が入っています。
○8/19 より生活福祉資金の緊急小口特例貸付が開始するにあたり、近畿、東海・北陸、北海道・東北ブロックに派遣要請が出されています。



✧ 災害ボランティア活動支援プロジェクト会議（支援 P）の動き

○熊本県社協からの要請により、8/1～支援を開始。9 月まで県域、八代市、宇城市、宇土市、氷川町の支援、10 月以降はスポット対応で運営支援者を派遣します。

4. NPO 等による支援の状況

✧ KVOAD（くまもと災害ボランティア支援団体ネットワーク）

○7/29（水）より多様な支援団体が集う火の国会議を引き続き、開催。282 団体が県内で支援。

・KVOAD ウェブサイト　※火の国会議は、9 月以降毎週火・金の 18 時～開催

・火の国会議 協力団体、参加団体一覧／過去の議事録

✧ 市町での情報共有会議

○市町村域でも、氷川町、八代市、宇城市で情報共有会議が開催されています（氷川町・毎週木曜日 18 時～、八代市・毎週水曜日 18 時～、宇城市・毎週月曜日 17 時 30 分～）。

✧ 炊き出し調整について

○各地で支援団体が炊き出しの申し出を受け入れ、活動調整を行っています。県域は体制構築中、八代市では NPO 法人リエラ、氷川町は PBV が調整を行っています。

✧ JVOAD（全国災害ボランティア支援団体ネットワーク）

○JVOAD は職員 1～3 名が熊本に常駐。政府非常災害現地対策本部を拠点の一つとし、KVOAD、内閣府、行政、社協、NPO 等と連携し、支援活動を実施。

✧ 震つな（震災がつなぐ全国ネットワーク）

○震つなでは、会員団体 10 団体が熊本での被災者支援活動を実施。会員団体が聞いた被災者の生の声を発信しています。
https://www.facebook.com/shintsuna.net

✧ その他

○支援者向け研修会として、保健師・保育士等を対象とした「子どものための PFA（心理的応急処置）」研修を開催。セーブ・ザ・チルドレン講師（第 1 回 8/27）。

○また、ペットの健康相談会が八代市で開催（8/16）、熊本市および宇城市でも開催（8/30）。

○被災住宅相談会として住宅の復旧・再建・耐震化などの技術的な内容の相談会が八代市（9/17、9/24）、宇城市（9/28,10/5,13,19,26）にて開催されます。

○熊本県弁護士会・日弁連が無料電話相談を実施しています。

5. 要配慮者支援（地域支え合いセンター／DWAT／福祉施設等）関係

✧ 地域支え合いセンター

○県内 13 市町で地域支え合いセンター設置予定（熊本市、八代市、天草市、宇土市、上天草市、宇城市、美里町、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、氷川町、芦北町）。

○熊本市、上天草市、宇城市、美里町、御船町、氷川町、芦北町が設置済。

○県域では熊本県社協が地域支えいセンター支援事務所を設置予定。

✧ DWAT（災害派遣福祉チーム）

○10/7 熊本県が災害派遣福祉チームの活動終了及び引継ぎ会議を開催。拠点での常駐支援を終了。県外応援チームによる支援も 9 月末（一部 10/2 まで）で終了。10 月いっぱいは被災自治体の要請に応じたスポット支援へ。10/2 時点で 10 チームが活動中。

✧ 社会福祉施設への介護職員等の派遣

○1800 超の福祉施設に被害が発生。8/12 被災した施設へ県内・他県の施設から職員派遣が開始。熊本県内 31 施設（高齢からの要望に対して 31 施設で調整済（10/2）。

・厚生労働省 令和 8 年熊本地震による被害状況

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75017.html

✧ 在宅の要配慮者の把握・支援

○8/5～8/8 に八代市（171 件）、氷川町（93 件）、8/17～8/22 宇城市（71 件）、宇土市（64 件）、美里町（131 件）で県内外の相談支援専門員が障害福祉サービスを利用していない在宅障害児者を戸別訪問。

○同じく 8/5 から八代市、氷川町、8/24 から宇城市、9/16 から宇土市で県内外のケアマネジャー、社会福祉士等が在宅の高齢者を戸別訪問（10/4 現在、八代市 859 件、氷川町 951 件、宇城市 524 件、宇土市 2,833 件）。
また、多様な NPO が避難所や保育園等で子ども支援を実施（活動一覧：JVOAD 作成）

✧ その他

○被災者や被災者を支える支援者への心のケアを目的として、こころのケアセンターが 10 月に設置予定。

○障害者支援関係では、熊本障害フォーラムが被災地障害者センターを設置。

○外国人関係は熊本県外国人サポートセンター（運営：熊本県国際協会）が相談を受付。給水所や避難所の情報等を 7 言語とやさしい日本語で発信。また、氷川町で 8/30、宇城市で 9/6 に外国人向けの出張相談会を開催。9/20 には熊本市で外国人向けのこころのケア研修会＋相談会を実施。10/18 八代市で相談会を実施予定。

○LGBTQ 関係、7/29、GID LINK がセクシャルマイノリティ専用の電話相談、LINE 相談窓口を開設。
性暴力被害者のためのサポートセンター「ゆあさいど くまもと」が避難所等の巡回を実施（8/27～）

6. 広域避難関係

✧ 都営住宅 100 戸の提供

○都住宅政策本部は、都営住宅 100 戸への受付を開始（8/5）。先行して 10 戸を提供。

✧ 都内避難者総合相談窓口の開設

○都内への避難者に対し、総合相談窓口を東京都社会福祉協議会（地域福祉部）に設置（8/4）。

✧ 緊急小口資金の特例貸付

○東京都内に避難してきた世帯に対して緊急小口の特例措置を適用。

7. 東京都関係

✧ 熊本地震への対応について

○東京都は熊本地震について、応急給水の応援職員や熊本市（※）へ避難所運営支援や被害認定調査に関する職員を派遣しているほか、7/28 より支援対応調整会議を開催し、各部局で取り組む支援活動について情報共有を実施。 ※東京都の対口支援先は熊本市となっています。
・https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/taisaku/saigai/1031539/index.html

8. 熊本県関係

✧ 復旧・復興プラン素案

○10 月 8 日に「第 6 回令和 8 年熊本地震復旧・復興本部会議」が開催され、熊本地震からの復旧・復興プランの素案が示されました。
https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/281911_899539_misc.pdf

✧ 発災 2 か月の対応総括

○9 月 28 日に「第 5 回令和 8 年熊本地震復旧・復興本部会議」が開催され、各部からの発災 2 か月の対応総括等の報告が行われました。

○被災市町村の課題を把握し、対応するため 10/1「市町村復旧・復興支援チーム」が設置されました。
https://www.pref.kumamoto.jp/uploaded/life/280998_894254_misc.pdf

9. 被災者の声

＜10/9＞
・「普段は何を着て寝てますか？」と尋ねたところ「着のみ着のまま」。
・「家の中は地震の時のまま。10 年前御船で被災して、犬がいたからここの一軒家を買って引っ越して来た。今はオカメインコとチンチラを飼っているが仮設が当たったらオカメインコはうるさくて周りに迷惑かけるから今から里親探しをしている。本当は連れて行きたいけど。」
・「あそこのおばあちゃんは施設に入られたのかな。地震で人が減った」
（一般社団法人おもやいボランティアセンターFacebook より）

❖令和 8 年熊本地震被害概要　※第 29 回県災害対策本部会議資料（2026.8.31）および被害情報（2026.10.13）

人的被害	・死亡 38 名 ①災害起因死者　36 名　　②災害関連死（可能性）　2 名　　③調査中　0 名 ※うち、日本製紙八代工場　9 名　　イオンモール熊本　7 名 ※平成 28 年熊本地震では、直接死 50 名、災害関連死 223 名
住宅被害	・78,426 棟 （全壊　2,454 棟、　大規模半壊　910 棟、　半壊　6,977 棟　一部損壊 63,697 棟 ※分類未確定 4,388 棟
断水	8 月 28 日にすべての水道本管の応急復旧が完了
福祉施設	・救護施設等で負傷者あり ・物的被害：高齢者施設 1,019、児童福祉施設 511、障害者福祉施設 455、救護施設 4 施設
避難所	・避難所　25 か所（7 市町）　避難者　1,198 名（-68 名） ・ホテル避難　県内 204 施設確保、マッチング済 554 件 1202 人（調整中 304 件）
福祉 避難所	・5 市町（熊本市・八代市・御船町・氷川町　9 施設）で 60 名が避難 うち、氷川町では母子避難所が 1 か所開設
仮設住宅	【建設状況】 ・建設型仮設住宅　7 市町 27 団地 868 戸を建設予定 【入居状況】 （熊本市） ・建設型 36 戸（67 人）　賃貸型 35 戸（81 人）　公営住宅等 18 戸（34 人） （熊本市以外） ・建設型 132 戸（279 人）　賃貸型 347 戸（810 人）　公営住宅等 15 戸（28 人） ※いずれも追加用地協議中 ※生業継続等の事情から自宅を離れるのが困難な被災者に対して自宅敷地内への建設型応急仮設住宅の供与が設置可能に

※本資料は、熊本県「災害対策本部会議資料」、熊本県「被害情報」の最新報、KVOAD「火の国会議の議事録」、厚生労働省「令和８年熊本地震による被害状況」、熊本地震ブロック派遣日報、東京都「令和８年熊本地震に係る対応について」、JVOAD「令和８年熊本地震支援」等を参考に作成しています。

以上